

平成 30 年 7 月豪雨災害中部支部調査団発足のお知らせと団員募集

応用地質学会 中部支部
支部長 吉田英一

平成 30 年 7 月豪雨は西日本各地に多大な被害を与えたことはすでにご存じのとおりです。日本応用地質学会ではこの災害に対して対応本部を設置し、災害調査がすでに開始されています。中部支部管内においても、岐阜県を中心に斜面崩壊や土石流、河川の氾濫などの災害が発生しました。広範囲に及んだ災害の実態を明らかにすることが応用地質学にも求められています。

そこで、応用地質学会中部支部でも、災害調査団を発足することになりました。各地で発生した災害の情報収集、現地調査などを実施し、西日本各地での調査成果とあわせて災害の様相を明らかにして、地域への貢献をはかることを目的としています。

つきましては、調査団員を募集いたします。日程を調整の上、9 月から 10 月にかけての現地調査ととりまとめ、資料収集や解析などに手を貸していただける方はぜひご応募ください。

調査団幹事：篠田繁幸（国際航業株）、永田秀尚（(有)風水土）、田村浩行（応用地質株）

【〆切：9/5（水）】

※9 月の現地調査の調整のため、一旦締め切りますが、締め切り日以降も随時受け付けます。ご参加いただける方は、以下の連絡先まで、まずご連絡ください（所属、お名前、連絡先メール・電話）。追って、調査団幹事より詳細のご連絡、調整をさせていただきます。

【連絡先】

国際航業株式会社 中部技術部 気付 応用地質学会 中部支部
〒451-0045 愛知県名古屋市西区名駅二丁目 27 番 8 号 名古屋プライムセントラルタワー
TEL: 052-747-3116 FAX: 052-551-6061

代表幹事 藤原協<kyo_fujiwara@kk-grp.jp>

調査団幹事 篠田繁幸<shigeyuki_shinoda@kk-grp.jp>